

() 年 () 組

基 準
A 大変思う
B 思う
C あまり思わない
D まったく思わない
E わからない

回收率 92%

回答数 86 / 93

	せつ 設	もん 問	A	B	C	D	E
1		学校に行くのが楽しい。 ()	32	38	8	5	3
2		先生はわたしたちのことを大切にしている。 ()	39	39	4	0	4
3		将来の進路や、生き方について考える機会がある。 ()	43	33	7	1	2
4		先生はいじめについて、私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。()	42	31	7	2	4
5		担任の先生以外にも保健室等、気軽に相談することができる先生がいる。()	33	29	10	8	6
6		命の大切さや社会のルール、人権について学ぶ機会がある。 ()	46	35	4	0	1
7		学校行事(すながわ祭、スポーツ大会等)は楽しく行えるように工夫されている。()	56	24	3	0	3
8		先生は私たちの障がいについて、よく理解してくれている。 ()	40	27	7	3	9
9		学校への意見、要望等がありましたら、記入してください					

肯定回答 AB			
R03	R02	前年比	R01
81%	79%	2	97%
91%	81%	10	89%
88%	92%	-4	89%
85%	79%	6	97%
72%	69%	3	89%
94%	90%	4	86%
93%	87%	6	80%
78%	72%	6	86%

学校評価用アンケート（学校教育自己診断）

【保護者】

() 年 () 組

基 準
A 大変思う
B 思う
C あまり思わない
D まったく思わない
E わからない

回収率 80%

回答数 74 / 93

	設 問	A	B	C	D	E
1	子どもは、学校に行くことを楽しみにしている。 ()	27	42	4	0	1
2	子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言っている。 ()	11	54	4	1	4
3	学校の生徒指導の方針に共感できる。 ()	24	40	6	0	4
4	学校は、将来の進路について適切な指導を行っている。 ()	34	33	4	0	3
5	学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。()	28	32	3	0	11
6	学校は子どもに生命を大切にする心や社会のルールを守る態度を育てようとしている。()	29	44	0	0	1
7	学校は教育情報について、提供の努力をしている。 ()	23	45	4	0	2
8	この学校の授業参観や学校行事に参加したことがある。 ()	44	26	1	0	3
9	学校は、子どもの障がいについてよく理解している。 ()	20	44	8	0	2
10	学校へのご意見、ご要望等がありましたら、ご記入ください。					

肯定回答 AB			
R03	R02	前年比	R01
93%	86%	7	71%
88%	73%	15	69%
86%	79%	7	76%
91%	85%	6	83%
81%	80%	1	83%
99%	90%	9	89%
92%	82%	10	84%
95%	86%	12	85%
86%	76%	10	74%

学校評価用アンケート（学校教育自己診断）

【教員】

基 準
A 大変思う
B 思う
C あまり思わない
D まったく思わない
E わからない

回収率 98%

回答数 45 /46

	設 問	A	B	C	D	E
1	学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。 ()	27	14	4	0	0
2	教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に活かしている。 ()	15	26	3	0	1
3	学校では、カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている。 ()	17	24	3	0	1
4	生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導をおこなっている。 ()	22	21	2	0	0
5	いじめの(疑いを含む)が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる。 ()	29	13	2	0	1
6	教育相談体制が整備されており、生徒と学級担任以外の教職員とも相談することができる。 ()	25	16	3	0	1
7	学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。 ()	24	18	2	0	1
8	教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている。 ()	19	22	2	0	2
9	生徒の人権を尊重し、日常の教育活動を行っている。 ()	26	17	1	1	0
10	学校への意見等がありましたら簡潔にご記入ください。					

肯定回答 AB			
R03	R02	前年比	R01
91%	85%	6	97%
91%	83%	8	89%
91%	90%	1	89%
96%	86%	10	97%
93%	96%	-3	89%
91%	96%	-5	86%
93%	94%	-1	80%
91%	77%	14	86%
96%	90%	6	91%

令和3年度 学校教育自己診断 結果・分析

大阪府立すなわ高等支援学校

○生徒、保護者、教員を対象に実施。生徒92%、保護者80%、教員98%の回収率で、昨年の回収率とほぼ同様の数値であった。本年度は、生徒、教員のアンケートについては「Google form」を使用し、保護者については従来通りプリントを配布し実施した。

【学校満足度】

「学校に行くのが楽しい」「子どもは学校に行くことを楽しみにしている」の設問の肯定的評価は、生徒81%で昨年より2%増し、保護者は93%で昨年度に比べて7%増えている。コロナ禍でも学校に行きたい、友達に会いたいなどの気持ちが高まったことと考えられる。

【生徒理解、人権教育等】

「先生は私たちの障がいについてよく理解してくれている」「学校は子どもの障がいについてよく理解している」の設問は、肯定的評価が生徒78%で6%増し、保護者が86%で10%増している。「命の大切さや社会のルール、人権について学ぶ機会がある」については肯定的評価が生徒94%で4%増し、保護者99%と9%増している。人権教育については、1年間を通して、同和問題やLGBTなどについて様々な項目を学習する機会を多く持った。また、同和問題では、生徒だけでなく保護者や教員にも学習会を行うなど、学校全体を通して取り組んだ結果が、全ての項目で増加したものと考えられる。

【進路指導等】

「将来の進路や、生き方について考える機会がある」「学校は、将来の進路について適切な進路指導を行っている」の設問では、肯定的評価が生徒88%で4%減、保護者91%と6%増えている。昨年とほぼ同様の数値となっている。昨年に引き続き、コロナ禍ということもあり、現場実習先にかかなり苦労したが、何とか生徒全員分の実習先を準備することができたこともこの結果に表れている。卒業生のアフターケアにおいてもコロナ禍の影響を受けるケースもあったので、今後も引き続き、迅速な対応、関係機関との連携を深めていく必要がある。

○教員のアンケートについて

前年度より「増」が6項目、「減」が3項目であった。全項目で肯定意見が90%以上であった。昨年減となっていた「学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている」については、91%と6%増加した。日常の教育活動やコロナ関連の話題について、職員朝礼やICT機器、メールなどを活用して迅速に情報の共有に努めることにより、教職員の共通理解や日常的な話し合いにつながったと考えられる。また、本年度より各クラスの担任数を減らし、新たに副担任を設定した。担任間の連絡をより密にとれるようになったことも要因の一つと考えられる。